

3択クイズ

地球温暖化

地球温暖化は、私たちが直面しているとても大きな環境問題の一つです。大雨や猛暑などの気候変動を引き起こし、世界中の人々や生きものに深刻な影響を及ぼします。

地球温暖化の影響を抑えるためには、私たち一人ひとりが環境にやさしい行動を心がけることが大切です。

では、あなたは地球温暖化についてどのくらい知っているのでしょうか？このクイズでああなたの知識を試してみましょう！意外と知らないものもあるかもしれません。

このクイズを通して、地球温暖化について学び、地球の未来を守るための一歩を踏み出しましょう。

Q1. 地球温暖化は、人の活動から排出される「温室効果ガス」の増加が原因といわれています。では「温室効果ガス」に含まれる気体のうち最も割合が多い気体はどれでしょう？

- ① 水素 (H₂)
- ② 窒素 (N₂)
- ③ 二酸化炭素 (CO₂)



Q2. 地球温暖化により、地球の気温は工業化以前(1850-1900年)からどれくらい上昇したでしょう？

- ① 0.7℃
- ② 1.1℃
- ③ 2.1℃



Q3. 地球温暖化は気候変動をもたらしますが、地球温暖化が進むと、雨の降る頻度は今と比べてどうなるでしょう？

- ① 増える
- ② 減る
- ③ 変わらない



Q4. 二酸化炭素は、電気やガスなどのエネルギーの発生・使用により多く排出されます。では、私たちの生活の中でもっと多くの電気を使っている家電はなんでしょう。

- ① テレビ
- ② 冷蔵庫
- ③ エアコン



Q5. 今後、地球温暖化対策を進めなかった場合、21世紀末の東京都の猛暑日(一日の最高気温が35℃以上の日)は現在より年間で何日程度増加すると予測されているでしょう？

- ① 15日
- ② 30日
- ③ 50日



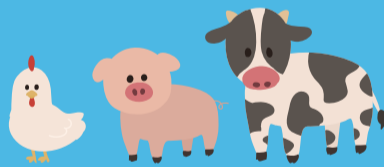
Q6. 太陽光や水力、風力などの「再生可能エネルギー」は、繰り返し使え、温室効果ガスを排出しない環境に優しいエネルギーです。では、日本の発電で一番使用されている再生可能エネルギーはなんでしょう？

- ① 太陽光発電
- ② 風力発電
- ③ バイオマス発電



Q7. 温室効果ガスは、人の活動のほか、ある動物から発生する量も大きく、問題になっています。その動物とはなんでしょう？

- ① ニワトリ
- ② ブタ
- ③ ウシ



Q8. 狛江市は、地球温暖化対策を推進するため、2021年4月にある宣言を行いました。その宣言の名前はなんでしょう？

- ① ゼロカーボンシティ宣言
- ② シーオーツードア宣言
- ③ エネルギーニュートラル宣言



回答発表!

Q1. 答え ③
温室効果ガスは、二酸化炭素(CO₂)、メタンなどの地球の気温上昇の要因となる気体の総称です。このうち、二酸化炭素は全体の75%を占めます。二酸化炭素は、地表面から放出される熱を吸収し、地表面に再放出することで、地球を温かくしています。
出典：IPCC 第6次評価報告書 WG3

Q2. 答え ②
1.1℃という小さく感じるかもしれませんが、お風呂やエアコンの設定温度を1℃変えると感じる温度が大きく異なるように、1℃の変化であっても環境に大きな影響を及ぼします。現在、世界の国々は、2050年までの気温上昇を1.5℃に抑える努力をすることで合意しています。
出典：IPCC 第6次評価報告書

Q3. 答え ②
地球の気温が上昇することにより空気中に含まれる水分量が多くなることから、雨の頻度は減ります。一方、含まれる水分量が多くなるため、一度に降る雨の量が多くなり、大雨の頻度が多くなると予測されています。これらの現象により、水不足や水害等の災害が増える恐れがあります。

Q4. 答え ③
エアコンは、私たちが生活で使用する電気使用量の14.7%を占めています。節電や高効率家電への買替など、省エネに努めることが大切です。また、冷暖房時の熱の出入りの大半が窓からとなっているため、高断熱性能の窓に変えることも有効です。
出典：令和3年度家庭部門のCO₂排出実態統計調査事業委託業務(令和3年度調査分の実施等)報告書

Q5. 答え ②
地球温暖化に追加的な対策を取らず、地球の気温が工業化以前と比べて約4℃上昇した場合、東京都の猛暑日は約31日増加すると予測されています。このほか、バケツをひっくり返したように降る雨の発生が約1.5倍になると予測されており、熱中症や水害による被害が増大し、私たちの命や財産を脅かす恐れがあります。
出典：東京都の気候変動(東京管区気象台)

Q6. 答え ①
日本の発電電力量のうち、再生可能エネルギーによるものは21.7%で、その中で最も大きい割合を占めるのは太陽光発電となっています。近年、薄くて軽く、壁面や耐荷重が小さい屋根などにも設置できる「ペロブスカイト」という次世代型太陽電池の開発も進んでいます。
出典：2022年度エネルギー供給実績(速報)資源エネルギー庁

Q7. 答え ③
ウシのげっぶには温室効果ガスの一つである、温暖化を促進するメタンが含まれています。メタンは二酸化炭素よりも気温上昇の効果が高い気体で、また、世界では15億頭の牛が飼われています。この対策として、飼料を工夫し、メタンが出ないようにする取組が進められています。

Q8. 答え ①
狛江市は、2021年4月に「狛江市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。「ゼロカーボンシティ」とは、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロに取り組む自治体を指します。実質ゼロとは、二酸化炭素排出量をできるだけ減らした上で、残った排出量を森林の二酸化炭素吸収量等と相殺してゼロにするという意味です。

あなたはいくつ正解できましたか？

